

資金送金・投資方法 の提案概要

作成者：Soon Zheng Dong
作成日：2026 年 2 月 8 日

※為替換算：1 MYR $\approx$ 30 円で試算（概算）

目次

目次	2
1. 結論：資金送金の最適な方法	3
2. 段階送金を推奨する理由	3
(1) 為替リスクの低減	3
(2) 日本側社内稟議の円滑化	3
(3) 投資リスクの限定	3
3. 段階送金のフェーズ設計	4
PHASE 1：市場テスト（PILOT）	4
PHASE 2：事業拡張（EXPANSION）	4
PHASE 3：本格 ASEAN 展開（FULL INVESTMENT）	4
4. 出資送金の実務ステップ	5
5. 送金方法の比較（コスト・安全性）	6
6. 為替コスト削減・安全性の重要ポイント	6

1. 結論：資金送金の最適な方法

本事業における資金送金は、段階的送金（フェーズ投資）方式を最推奨とする。これは日本企業が海外投資を行う際の標準的手法であり、リスクを最小限に抑えつつ、確実な事業進捗を担保することが可能である。

2. 段階送金を推奨する理由

(1) 為替リスクの低減

- 為替相場を注視しながら時期を分散して両替を行うことで、急激な変動による損失を抑制する。

(2) 日本側社内稟議の円滑化

- 「検証 → 拡張 → 本格投資」というフローは日本企業の標準的な投資プロセスと一致するため、社内承認を得やすい。

(3) 投資リスクの限定

- 各フェーズの結果に基づき追加投資を判断できるため、万一の際の損失を最小限に留めることができる。

3. 段階送金のフェーズ設計

Phase 1：市場テスト（Pilot）

- 投資想定額：約 3,000,000 円 ～ 10,000,000 円
- 主な用途：SIRIM 認証取得、初回製品輸入、初期マーケティング活動
- 想定期間：6～12 ヶ月

Phase 2：事業拡張（Expansion）

- 投資想定額：約 10,000,000 円 ～ 50,000,000 円
- 主な用途：在庫の拡大、ショールーム開設、現地スタッフの採用

Phase 3：本格 ASEAN 展開（Full Investment）

- 投資想定額：約 50,000,000 円 ～ 300,000,000 円以上
- 主な用途：ASEAN 地域本社の設立、現地組立・製造拠点の構築、広域代理店網の整備

4. 出資送金の実務ステップ

- **Step 1：マレーシア法人の準備（1～3 週間）**
 - Sdn Bhd（現地法人）の設立、および会社名義の銀行口座開設。
- **Step 2：日本側での出資決裁（1～4 週間）**
 - 投資金額および株式比率の最終決定。
- **Step 3：増資書類の作成（3～7 営業日）**
 - Company Secretary（会社秘書役）による手続き。
- **Step 4：送金実行（1～3 営業日）**
 - 日本からマレーシアの会社口座間での銀行送金。
- **Step 5：SSM への株式割当届出（1～3 営業日）**
 - マレーシア企業委員会（SSM）への登記反映。
- **合計所要期間： 最短約 2 週間 ～ 通常 1～2 ヶ月程度**

5. 送金方法の比較（コスト・安全性）

送金方法	特徴	適したケース
銀行 TT 送金	標準的かつ高い安全性。 手数料は 3,000～10,000 円程度。	大企業・法人における標準
Wise Business	低コスト（手数料 0.3～0.6%） かつ高速。	スピードとコストを重視する場合
マルチカレンシー口座	円で受領し、好条件のタイミングで 両替が可能。	為替損失を最小化したい場合

6. 為替コスト削減・安全性の重要ポイント

- **個人口座経由の禁止**

代表者個人口座を経由した資金移動は、税務および資金洗浄規制（AML）上のリスクが極めて高いため、厳禁とする。

- **一括両替の回避**

分割両替を推奨し、円建て保有でレート優良なタイミングを計る。